

司 修 山 寺

言葉の森

2017年7月24日(月)～9月24日(日)
11:00～20:00 火曜休館 入場無料
八戸ブックセンター ギャラリー企画展示



八戸ブックセンター

八戸ブックセンター ギャラリー企画展示

寺山修司 言葉の森

2017年7月24日(月)～9月24日(日)

11:00～20:00 火曜休館 入場無料

ごあいさつ

八戸ブックセンターより

このたび、八戸ブックセンターではギャラリー展「寺山修司 言葉の森」を開催いたします。

青森県出身で八戸にも住んだことがあり、文芸・演劇・映像・写真など、さまざまなジャンルで活躍した寺山修司。その作品は没後30余年を経た現在も、たくさんの人を魅了しつづけています。今回の展示は、「言葉の魔術師」と評されることも多い寺山が生み出した、「言葉」の魅力に焦点をあてた展示となっておりますので、ぜひゆっくりとご覧ください。

また、今回の企画は、三沢市にある寺山修司記念館のご協力の下で開催しています。本展示と併せて、ぜひ寺山修司記念館もご覧いただき、寺山の世界をより深く感じていただければ幸いです。

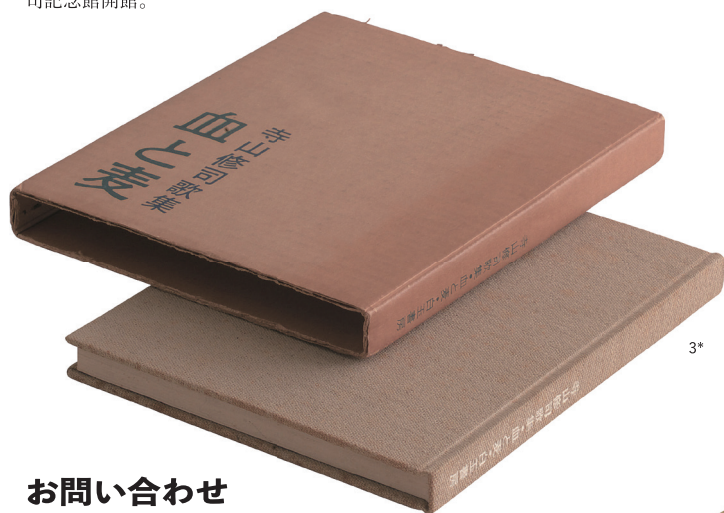
寺山修司記念館より

今回の展示では、寺山の創作の原点、10代の頃からの俳句・短歌作品から晩年のエッセイまで、心を揺さぶる「寺山修司の言葉の森」をお楽しみください。

また、寺山修司記念館開館20周年を記念し、8月6日(日)に三沢市において開催される、幻想市街劇「田園に死す」三沢篇の関連展示もありますので、公演と併せてご覧ください。

寺山修司 (てらやま・しゅうじ、1935-1983)

青森県生まれ。詩人、俳人、歌人、劇作家、小説家、評論家、作詞家、映画監督、エッセイスト。ボクシング・競馬のエッセイなども。創作活動は多岐にわたり、「職業は寺山修司」と名のつた。1997年、多感な少年時代を過ごした三沢市に寺山修司記念館開館。



3*

お問い合わせ

八戸ブックセンター

〒031-0033 青森県八戸市大字六日町16番地2 Garden Terrace 1階
開館時間：11:00～20:00 ※7月31日(月)～8月5日(土)は10:00～21:00
休館日：火曜日

※8月1日(火)と8月15日(火)は臨時開館・8月21日(月)は臨時休館

電話：0178-20-8368

web：https://8book.jp

主催＝八戸ブックセンター 協力＝寺山修司記念館 / 株式会社テラヤマ・ワールド



1*



2*

トークイベント

佐々木英明氏 (寺山修司記念館館長)

×

笹目浩之氏 (株式会社テラヤマ・ワールド代表取締役)

2017年9月10日(日) 14:00～15:30

8月10日(木)より参加受付を開始予定です(八戸ブックセンターに直接お越しいただくか、お電話、またはウェブサイトのメールフォームよりお申し込みください/先着順)。

寺山修司記念館館長 佐々木英明 (ささき・えいめい)

1948年、青森県・平内町出身。詩人。1968年、県立青森高校を卒業し、寺山修司が主宰する演劇実験室「天井桟敷」に参加。舞台『書を捨てよ、町へ出よう』、映画『書を捨てよ町へ出よう』、『邪宗門』、『阿片戦争』他に出演。1972年、天井桟敷退団。1987年帰郷。現在は、詩作に励みつつ、朗読会、演劇、講演などの活動を精力的につづけている。詩集に『愛について』(1993年)、『心を閉ざす』(1996年)、『刈株集』(2010年)がある。2012年4月より三沢市寺山修司記念館館長。

株式会社テラヤマ・ワールド代表取締役 笹目浩之 (ささめ・ひろゆき)

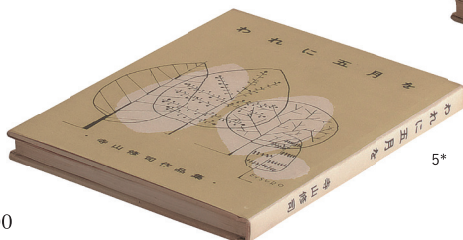
1963年、茨城県出身。1987年に株式会社ポスターハリス・カンパニー設立。1990年より演劇・映画祭・イベントの企画・宣伝・プロデュースも多数手がける。現在、株式会社テラヤマ・ワールドの代表取締役として、寺山修司の著作権管理及び三沢市寺山修司記念館の指定管理者(2009年～)。編著に『ジャパン・アヴァンギャルドーアングラ演劇傑作ポスター100』(2004年)。著書に『ポスターを貼って生きてきた。』(2010年)、『寺山修司とポスター貼り。』(2013年)。



佐々木英明氏



笹目浩之氏



5*



4*

1: 句集『花粉航海』(深夜叢書社、1975年)

2: 歌集『田園に死す』(白玉書房、1965年)

3: 歌集『血と麦』(白玉書房、1962年)

4: 歌集『空には本』(的場書房、1958年)

5: 作品集『われに五月を』(作品社、1957年)



八戸ブックセンター